

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・整備事業

コード	名称
事業名	2018 製材事業所跡地維持管理経費
基本施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする

担当部課名	島ヶ原総務振興課
作成者氏名	山本 繁昌
連絡先	59 - 2053

事業の計画・内容

整備目的 老朽化した建物を解体した上で、跡地についての有効利用として、島ヶ原放課後児童クラブが利用できるよう建物を改修し、敷地を多目的広場として整備する。(建物改修:別途保育予算)	整備内容	1 整備面積等	多目的広場3,000㎡
		2 規模・構造	
		3 総事業費(千円)	36,850

投入資源

		H18	H19	H20
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0
	人件費合計(A)	3,600	3,600	0
支出内訳(千円)	事業費(B)	9,650	20,000	0
	委託料	200	600	0
	工事費	9,450	19,400	0
	その他			0
合計(A+B)		13,250	23,600	0
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	受益者負担	0	0	0
	その他特財	0	0	0
一般財源	13,250	23,600	0	

上記 ~ に関する特記事項

根拠法令・要綱等
関連事業

事業年度	開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 19 年度
------	------	----------	------	----------

事業計画(同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H18	H19	H20	H21	H22
解体工事	⇔				
造成工事		⇔			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
駐車場利用台数	地域住民の憩いの場や近隣施設の駐車場不足解消として機能するか利用台数で計る。	平成 19 年度 1300台

評価	必要性	4	旧工場を現状のままとしておくことは、安全面や周辺への影響が大きく早急に解体するする必要があり、財産の適正な維持管理は必要不可欠なものであり、地元市民より跡地の有効利用を望まれている。
	有効性	3	跡地が市民にとって身近なものとなるよう、建物及び敷地の有効利用として島ヶ原放課後児童クラブの施設や多目的広場等に整備する。
	効率性	3	維持管理を市民参画で行うなど、様々な経費削減方法を追求していく。

総合評価

A